

昭和32年度畜産関係予算の概要について

昭和32年度岡山県予算は3月18日、3月定例議会において議決されたが、その中畜産関係予算の概要は大略次のとおりである。

一般会計（県職員費を含む）	1億3,150万9,000円
特別会計（競馬費）	6,871万2,000円
総計	2億22万1,000円
内訳	
畜産課事業費	5,949万5,000円
種畜場整備拡充費	2,574万8,000円
特別会計への繰出金	300万円
畜産関係試験場費	2,182万8,000円
県職員費（給与費）	2,143万8,000円
競馬費	6,871万2,000円

前年度と比較して新しく採り上げられた主な事業は中小農の畜産振興対策費100万円（但し全額国庫補助）家畜取引改善費10万円、飼料品質改善費10万円、

酪農振興費658万7,000円の中に75万円を集約酪農指定市町村に設置する酪農技術指導員の給与補助金を計上。

和牛肥育並びに肉加工奨励費として65万円を、又、国内産優良ホルスタイン種牡牛購入費として300万円が新しく予算化され、乳牛改良に大きな使命を果すことが期待される。

種畜場移転整備拡充費については2,574万8,000円（内300万円は乳用種牡牛購入費）が計上され昭和30年度の5,758万2,000円、昭和31年度の2,022万円と合算して約1億300万円が投入されることになり試験研究機関の整備完成も年次計画と相俟って着々その成果を挙げつつある。

次に昭和32年度より御津郡一宮町に岡山県家畜人工授精所が新しく発足し従来津山よりの精液輸送によって賄っていた県南部の種付業務がより円滑に行われることになる。

又真庭郡川上村に酪農試験場蒜山分場が新年度より業務開始の予定で、従来の中福田家畜保健衛生所は同場に吸収され新機構の下に事業を行う予定である。

なお具体的事業内容及び事項別の明細は次のとおりである。

畜産課

目別	事項名	昭和32年度予算額	事業概要
畜産奨励費		10,613,000	
	種畜検査費	73,000	種畜の適否を検査し優秀な種畜を確保するため毎年定期に国の委託により県が実施す
	畜産技術振興費	1,370,000	畜産技術経営診断事業補助金 1,370,000円
	家畜取引改善費	100,000	家畜市場の施設の拡充強化による模範家畜市場の育成
	種畜対策費	5,880,000	優良な種畜を確保し県内家畜の形質の改善生産の向上 種牡牛購入費 5,300,000円
	和牛改良費	100,000	種牡牛育成事業の再建と優良牛の計画生産
	中家畜奨励費	100,000	中家畜の振興を図るためモデル地域を設置し施策の強力な遂行を期す
	馬事奨励費	100,000	種牡馬の増産及び改良に資する
	養鶏奨励費	600,000	鶏の改良増殖を図る
	養蜂奨励費	70,000	養蜂事業の振興を図る
	家畜人工授精講習会費	29,000	家畜人工授精師の講習会を実施しその養成につとめる

岡山畜産便り1957.04

目別	事 項 名	昭和32年度 予 算 額	事 業 概 要
	臨時種畜検査費	15,000	家畜改良増殖法に基き毎年1回種畜検査を実施
	畜産物販路拡張費	726,000	畜産物販路拡張事業補助 250,000円
	畜産共進会費	800,000	第13回岡山県畜産共進会 第8回岡山県肉牛共進会
	和牛肥育並びに加工奨励費	650,000	肥育事業の振興
有畜農業奨励費		11,598,000	
	牧野改良費	946,000	牧野改良事業補助金 526,000円
	小団地開発整備牧野改良費	1,145,000	小団地開発整備牧野事業補助金 900,000円
	有畜農家創設事業費	4,707,000	有畜農家創設利子補給金 4,707,000円
	飼料自給経営地設置費	350,000	飼料自給経営地設置補助 350,000円
	中小農の畜産振興対策費	1,000,000	中小農の畜産振興対策として家畜導入資金を融資融資金の5分の1 国庫補助 1,000,000円
	飼料品質改善費	100,000	飼料品質改善に関する法律により飼料の品質検査
	牧野動力機械開発費	3,150,000	主として集約酪農地域内の牧野改良事業を機械力により推進
	有畜農家創設事業費	200,000	有畜農家の経営指導, 事業実施農協の指導検査
家畜伝染病予防費		5,892,000	
	県外移出検査費	49,000	家畜伝染病予防法第5条に基き牛, 馬, 豚等県外に移出する場合は 検査を行い証明書の交付
	馬の伝染病貧血検査費	50,000	家畜伝染病予防法第31条に基き競走馬の伝貧検診
	牛の結核病及びブルセラ病 検査費	2,385,000	家畜伝染病予防法第31条に基き乳牛種付牛に対し年1回以上本病の 検診
	腐そ病防遏費	25,000	みつばちについての腐そ病まん延防止
	動物用薬事費	31,000	薬事法に基き動物医薬品の製造販売業者の審査, 指導, 不良, 不正 医薬品の是正
	気腫疽病防遏費	175,000	阿哲郡大佐町, 新見市千屋町に発生の本病の予防
	豚コレラ防遏費	363,000	家畜伝染病予防法第30条に基き本病の発生防止
	ひな白痢防遏費	1,388,000	家畜伝染病予防法第6条に基き県登録種鶏場の鶏について実施し 「ひな」の損耗を防止
	家畜衛生試験所費	76,000	各家畜の病性鑑定及び各種試験の総合的研究
	内部寄生虫防遏費	620,000	家畜の寄生虫検査その指導
	外部寄生虫防遏費	230,000	”
	乳牛の栄養障害除去指導費	400,000	乳牛の栄養代謝障害の予防及び指導
	家畜衛生技術講習会費	100,000	関係職員に対して家畜の諸病知識とその技術の向上のため講習会を 実施
家畜保健衛生所費		22,995,000	県下26ヵ所の家畜保健衛生所の運営費
岡山県家畜人工授精所費		1,810,000	県南部の酪農のセンターとして南部の各保健衛生所へ精液の定期配 付及び調査研究
酪農振興費		6,587,000	
	集約酪農振興費	5,900,000	ジャージー導入分担金 3,000,000円 簡易集乳所設置補助 5,000,000円
	酪農振興費	687,000	酪農を振興して農業経営の合理化を図り豊かな酪農村の建設
(頂)	岡山種畜場移転整備拡充費	25,748,000	
	養鶏試験場費	2,500,000	工事費 2,460,000円
	酪農試験場費	11,878,000	工事費 5,680,000円
	和牛試験場費	3,650,000	工事費 2,350,000円

岡山畜産便り1957.04

目別	事 項 名	昭和32年度 予 算 額	事 業 概 要	
	酪農試験場蒜山分場設置費	2,500,000	工事費	2,145,000円
	牧野改良試験地費	2,420,000	工事費	1,965,000円
	家畜人工授精所設置費	2,800,000	工事費	1,040,000円
	畜産関係試験場費			
	養鶏試験場費	7,000,000		
	酪農試験場費	6,633,000		
	和牛試験場費	6,430,000		
	酪農試験場費蒜山分場費	1,765,000		